

施設公開「ちょこっと体験ツアー」の開催について

(所全体)

令和5年11月12日(日)畜産技術センター・県央家畜保健衛生所・(一社)神奈川県畜産振興会と共催で施設公開「ちょこっと体験ツアー」を開催しました。両機関の施設公開は新型コロナウイルス感染症及び家畜伝染病予防のため中止されていたため、4年ぶりの開催となりました。今回、継続的に国内で発生している重大な家畜伝染病に対する防疫徹底の側面から、参加者を事前登録するとともに公開範囲を飼養衛生管理区域外に限定して開催しました。

公開は午前、午後の2部制とし、事前に参加登録された84名(22組)の県民を所内に迎え、職員のツアーコンダクターの案内により、牛の展示、バターづくり体験、畜産クイズ(畜舎から生中継)、たまごの中や顕微鏡での細胞の観察、両機関の業務内容や研究成果の紹介、県産畜産物の試食などにより畜産を体験していただきました。参加申し込みは657名(192組)からあり、抽選で100名(26組)に参加登録しましたが、インフルエンザ感染等で参加を辞退される方がありました。

(普及指導課)

普及指導課では特に厳しい経営環境にある酪農業について、来場者に理解と関心を高めてもらうため、県産牛乳を使った「バターづくり」と疑似搾乳体験装置「ミルタン」と搾乳機を使った「搾乳体験」を実施しました。

「バターづくり」ではバターとは何か、どうしてバターができるのか等の説明を聞きながら、県産牛乳と生クリームを入れたチューブを1人1本ずつ、力いっぱい振って、楽しみながらバターを作りました。出来上がったバターをクラッカーにつけて試食するときには「美味しい!」、「家でもやってみる」等の感想が聞こえました。

「搾乳体験」では、牛のミルクの手搾りの方法や、1回の手搾りではスプーン1杯分しか搾れないことや実際に1日に牛が出すミルクの量などを説明し、「ミルタン」での乳搾り体験をしてもらいました。また、ミルカーによる搾乳の仕組みなどを説明し、ミルカーでの指吸い体験や、ミルタンにミルカーを装着した疑似搾乳を見てもらうなど、牛乳を搾る大変さを体感してもらいました。牛乳10を搾乳するのがとても大変なことを知っていただき、酪農理解への一助につながりました。

今後も、県民の畜産に対する理解と関心を促進し、県内畜産物に関心を持ってもらえるよう努めていきたいと考えます。



バターづくり体験



ミルカーでの指吸い体験



牛の展示



畜産クイズの優勝者にプレゼント贈呈



県畜産品の試食



顕微鏡での観察